

**グリーフケアの理解を深め、より質の高い支援を目指して
鳥取県の医療従事者・母子保健従事者の方を対象とした
グリーフケア研修・マニュアル作成・認定バッチ作成を実施**

「子どもを願うすべての人によりそい幸せな人生を歩める社会をつくる」をビジョンに掲げ、法人の従業員向け福利厚生や自治体の住民向け支援を行うヘルスケアサポートサービス「ファミワン」<https://famione.com/benefit/>などを展開する株式会社ファミワン（本社：東京都渋谷区、代表取締役：石川勇介）は、鳥取県（県知事：平井伸治）の医療従事者・母子保健従事者など当事者への支援に携わる方を対象に、2025年12月23日（火）に「子どもとの死別を経験した方への関わり方」をテーマとした従事者向けのグリーフケア研修及び交流会をオンラインで開催いたしました。

**グリーフケアの理解を深め、より質の高い支援を目指して
鳥取県の医療従事者・母子保健従事者の方を対象とした
グリーフケア研修・マニュアル作成・認定バッチ作成を実施**

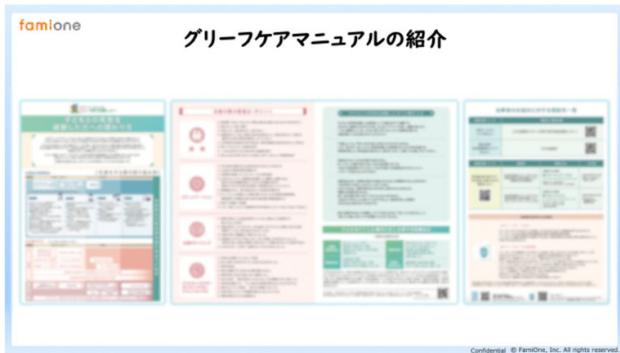


本研修の開催にあたり、鳥取県内で医療従事者・母子保健従事者など、当事者への支援に携わる方を対象に事前アンケート調査を実施しました。支援現場における悩みや課題を把握したところ、「当事者の気持ちを理解し寄り添うことの難しさ」や「支援方法に対する迷い」など、支援する側が多く葛藤を抱えながら支援にあたっている実態が明らかになりました。

当日の研修では、こうした事前アンケート調査の結果を踏まえ、ファミワンの公認心理師・臨床心理士 戸田さやかが、グリーフ（悲嘆反応）の基本的な知識・理解について、分かりやすく解説しました。一方的な知識の解説にとどまらず、支援者が抱えやすい迷いや戸惑い、「分かってはいても対応が難しい」と感じる戸惑いにも目を向けながら、支援者として求められる姿勢や、現場で大切にしたい関わり方の視点を丁寧に共有しました。

後半の交流会では、参加者同士が日頃の支援で感じている悩みや課題を共有し合い、実践に生かせる気づきや視点を深め合う機会となりました。本研修を通じて、支援者同士がつながり、より質の高い支援につなげていくきっかけとなることを目指しました。

さらに、本研修の実施とあわせて、支援現場での実践につなげることを目的とした「グリーフケア支援者向けマニュアル」をファミワンが作成しました。研修で扱った内容や当事者への関わり方のポイントを整理するとともに、支援者が迷いやすい場面での考え方や声かけの視点なども盛り込み、研修後も継続して学びを振り返り、現場で生かせる内容としています。学びと支援現場での実践をつなげるツールとしての活用が期待されます。



本研修は、鳥取県の産後ケアエキスパート研修にも位置付けられ、研修を受講した産後ケア事業者へは「産後ケアエキスパート認定バッヂ」が配布されました。本バッヂは、鳥取県職員のデザイン案をもとに、ファミワンが作成を担当しました。



ファミワンは、鳥取県からの委託を受け、2025年1月より継続的に、鳥取県内におけるプレコンセプションケア啓発活動を推進しています。チラシ・ポスターの作成・配布、プレコンセプションケア健診受診者向け冊子の作成、オンラインセミナーなどの開催を実施してきました。2026年2月7日(土)には、「今日からできる!『自分のカラダ』のトリセツ」～未来につながるプレコンセプションケア～“栄養”“睡眠”“心”的こと」と題した、プレコンセプションケアをテーマにしたオンラインセミナー第2弾の開催が予定されています。ご興味のある方は、ぜひお申し込みください。

▼お申し込みはこちら

<https://form.run/@tottori-seminar20260207>

■研修概要

「子どもとの死別を経験した方への関わり方」

【開催日時】2025年12月23日(火) 13:00～14:30 (講義+交流会)

【講師】戸田 さやか 公認心理師・臨床心理士(株式会社ファミワン)

【開催形式】オンライン(Zoomミーティング)開催

【対象者】鳥取県内の医療従事者・母子保健従事者など当事者への支援に携わる方

■研修後アンケートからのコメント(一部抜粋)

「今まで知っているようで目から鱗的な内容があり参考になった。」

「グリーフケアについて当事者の方に自分が出来ること、または間違った対応が分かった」

「グリーフケアの基本的な考え方から具体的な支援方法まで、丁寧にまとめてください、わかりやすかったです。グループ間での交流も良かったです。」

「グリーフケアについて、新しい知見を得ることができた。交流会でも行政の方と情報交換できたことはよかったです。」

■鳥取県家庭支援課様からのコメント

近年、予防のための子どもの死亡検証(Child Death Review)をはじめ、産後ケア事業や、妊婦のための支援給付金といった母子保健分野において、子どもを亡くしたご家族が抱える深い悲しみに対し、寄り添い、支えていくことが求められている。

一方で、「子どもとの死別」は、特に悲嘆(グリーフ)が強く、皆さんの中には、悲嘆に暮れる家族の心情を思い、何か支援ができないか、と支援方法に悩む思いをされた方もあったかもしれない。

今回、株式会社ファミワンと行ったグリーフケアマニュアルの作成とセミナーは、こうした現場で活躍する方にとって、学びの多い内容であったと思う。今後もこうした取り組みについて継続して実施していきたい。

■福利厚生サービス「ファミワン」の概要

組織全体の風土づくり × 当事者の個別サポートの2軸でご支援

福利厚生サービス「ファミワン」は、「専門家によるセミナー/研修を通じての従業員のリテラシー向上や社内風土の醸成」、そして「オンライン健康相談による従業員個々のサポート」の両側面から、企業の健康経営や両立支援の促進、女性活躍推進を支援します。

「ファミワン」導入企業の社員/従業員は、オンライン上で時間や場所を選ばず、社外の看護師や心理士、キャリアコンサルタントなどの有資格者に多様なテーマについての相談が可能です。匿名でかつ内容を会社に知られずに相談できる環境を提供することで、心理的安全性を高めるとともに従業員満足度の向上が期待できます。さらに、早期に悩みを相談し自身の身体や心の状態に気づくことで、行動変容を促し、不調を未然に防ぐ効果も期待できます。

また、全従業員を対象に、プロフェッショナル講師陣によるセミナー/研修を提供し、会社全体のリテラシーを高めます。特に女性特有の健康課題に対しては、約7割の女性従業員が上司・周囲の理解を望んでいます*1。管理職や支える側の従業員など、当事者以外へ正しい知識を提供し、理解を促すことで支援の幅の拡大に貢献します。セミナー/研修のテーマは、各社のニーズや課題感に応じてカスタマイズ*2が可能です。

2018年9月より、法人向け福利厚生プログラムの提供を開始。小田急電鉄やTBS厚生会などへの福利厚生導入に加えて、ソニー、全日本空輸株式会社(ANA)、伊藤忠労働組合などへもセミナーを提供しています。自治体への提供としても、神奈川県横須賀市をはじめ、長崎県、東京都杉並区、世田谷区、広島県三原市、群馬県邑楽町など、都道府県単位から中核都市、そして数万人規模の市区町村まで幅広く提供を行っております。

※本サービスは医療行為ではないため、診断や処方は行いません。

▶ファミワン 法人向け福利厚生サービス <https://famione.com/benefit>

▶自治体向け「妊活 LINE サポート事業」<https://famione.com/local/>

*1 出所: 働く女性のウェルネス向上委員会HPより(東京都実施, 2023-5, 都内で働く女性 3500人 +企業担当者 200人へのアンケート調査結果)

*2 不妊治療の基礎知識、卵子凍結などプレコンセプションケアの啓発、月経・PMS、更年期などの健康課題、ライフプランや人間関係、メンタルケアまで多彩なテーマに対応

専門家が妊活・不妊治療をフルサポート

全国で専門家50名がサポート

不妊症看護認定看護師・臨床心理士・胚培養士・管理栄養士・
保健師・薬剤師・キャリアカウンセラー・助産師など

※2024年3月現在

famione

＜会社情報＞

株式会社ファミワン

所在地 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1丁目10番8号渋谷道玄坂東急ビル2F-C

代表者 代表取締役 石川 勇介

設立日 2015年6月1日

URL <https://famione.co.jp/>

▶ファミワン 法人向け福利厚生サービス <https://famione.com/benefit>

▶自治体向け「妊活 LINE サポート事業」<https://famione.com/local/>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ファミワン 広報担当 Mail: info@famione.com TEL:080-2243-6995